

交流の輪ひろげよう

Ring

Ring

りんぐりんぐ

第65号
VOL.65

八戸国際交流協会

Hachinohe International Relations Association

2020年2月

Published February 2020

ファッションショー 民族衣装 Fashion Show!



令和元年9月15日（日）

マチニワで、第9回国際交流フェスタ in はちのへを開催しました。

今年の目玉企画は、民族衣装ファッションショー！韓国、ベトナム、フィリピン、タイ、インドネシアの5ヵ国の民族衣装は、いずれも美しく、観客から盛んに拍手が贈られました。他には、歌やダンスの披露もあり、昨年大反響だったフィリピンのバンブーダンスは、今年も会場全体を巻き込んで大きく盛り上がりました。

来場した方々も、出演・ご協力いただいた方々も、みんなが国籍を超えて楽しんだイベントになりました。

⇒ 詳細については、2ページをご覧ください。

交流するともっと
わかる世界のこと。

Index

P2 第9回 国際交流フェスタ in はちのへ
P3 ジャパン・デー・イン・八戸
P4～5 外国籍の子供たちの日本語習得（幼児編）
P6～8 国際交流員アンジェリカのコーナー

P9 JICA 隊員現地レポート
P10～11 世界で活躍する八戸ゆかりの人
P12 外国人住民用「ほっとスルメール」

会員数

個人

153

団体

59

（令和2年2月現在）



第9回 国際交流フェスタin はちのへ

令和元年9月15日（日）、マチニワで第9回 国際交流フェスタinはちのへを開催しました。会場には約500名が訪れ、八戸市外国人住民数トップ3のベトナム・中国・フィリピンにフォーカスを当てたブースで外国人と交流をしたり、フードブースではエスニックな料理を食べたりと、思い思いに楽しみました。

交流ブース

英語ブースも設置し、計4つのブースで外国人との交流を楽しみました！



ベトナムブース



中国ブース



フィリピンブース

ステージ

民族衣装ファッションショーやダンスで会場を盛り上げました！



フィリピン



ベトナム



タイ



インドネシア



アーティストトーク



バンブーダンス

その他

多くの方々にご協力いただいてイベントを成功させることができました！



フードブース



海外留学相談デスク



交流会

ジャパン・デー・イン・八戸

スケート体験 in YSアリーナ八戸

令和元年12月8日（日）、YSアリーナ八戸で、今年で8回目となる「ジャパン・デー・イン・八戸」を開催しました。今回は、冬の八戸を代表するスポーツのスケートを、外国人55人に体験してもらいました。参加者の多くが初体験でしたが、滑り方を教わるとすぐに楽しそうに滑っていました。

滑走後は、交流会を開きました。温かいせんべい汁を食べてもらいながら、八戸のお祭り等のレクチャーに続き、ビンゴ大会で大いに盛り上がりました。ハズレ無しのビンゴ大会は、参加者全員が八戸の銘品を持ち帰ることができました。

スケート体験



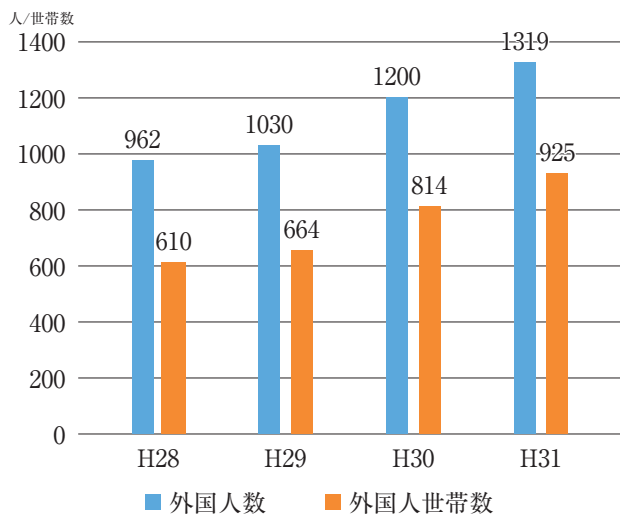
交流会



当イベントは八戸ロータリークラブ様の御協賛・御協力で開催しました。当日もボランティアとして、スケート靴の履替え補助、交流会の進行等にお手伝い頂きました。ありがとうございました。

外国にルーツをもつ子供たちの日本語習得（幼児編）

八戸市外国人住民数及び
外国人世帯数の推移



近年八戸でも多くの外国人を見かけるようになりました。左のグラフが示すように、八戸市外国人住民数及び外国人世帯数は年々増加しています。特に多い国籍は、ベトナム、中国、フィリピンです。

2019年4月には、より多くの外国人の就労を可能にする新たな在留資格「特定技能」が創設され、一定の条件を満たせば、家族の帯同も可能になります。帯同する家族も含め日本での生活で課題となるのが「日本語の習得」です。日本の暮らしには日本語でのコミュニケーションが不可避となりますが、外国人の皆さんはどのように日本語を習得されているのでしょうか。

今号では、「外国からやって来た幼児の日本語習得」について触れたいと思います。

◇『市内幼稚園での外国にルーツをもつ幼児の受入』

外国にルーツをもつ幼児が八戸に来る理由は、両親の仕事の関係や、日本の幼児教育を受けさせるためなどがあります。

写真で示すように、アメリカでは幼児のころから色々な国籍・人種の人たちと接するのは当たり前のことでしょう。一方日本では、異なる国籍の人と一緒に過ごすことは、まだあまり多くないと思います。

海外で育った幼児を受け入れる場合の対応を、八戸学院聖アンナ幼稚園の山西幸子園長に伺いました。

「外国籍の子供が入園することはよくあることで、園としてその為に特別なことはしません。子供たちがこちらに合わせてきます。日本語に関しては、園内で使う大事な言葉は教えますが、後は周りの子供たちの会話を聞いて覚えます。ただ、最初のうちは日本語がわかりませんので、その子の母語の単語を先生方が覚えたり、紙に書いて貼り付けたりして、いざという場合に使えるようにします。」

また、日本語が分からない保護者との連絡に際しては、「やはり通訳者が必要な場合もありますが、例えばその子の兄弟が日本の学校に通っていて、ある程度日本語ができるならば、兄弟を介して話をします。3歳ではまだ母語の能力も完全ではありませんから、日本語を使えるようになるのに問題はないと思います。」とおっしゃっていました。

◇『ある家庭の3歳児の日本語習得と周辺の変化』

アメリカ人の父と日本人の母の家庭に生まれ、2歳半までアメリカの保育園に通っていた女兒が日本で幼児教育を受けるために、6月に八戸にやってきて、7月から幼稚園に通い始めました。家庭では、母が話しかける日本語は理解しているようですが、彼女の口から出るのは英語でした。英語ができない祖父母とはおのずと距離ができます。幼稚園でも上手くコミュニケーションが取れないため、嫌々通っていました。

唯一英語で会話できるのは、アメリカで寂しく過ごしている父



アメリカの保育園の様子



インターネットで父と会話

とのインターネット通話で、その時は本当に楽しそうに思いつき話していました。10月のはじめ頃、母からどうしたいのかを尋ねられた時に泣きながら「わからない！」を連発していた彼女。おそらく日本語での表現ができない苛立ちからだったのでしょう。それが、10月の中旬ごろからはガラッと変わって、彼女の日本語の語彙がどんどん増えていきました。それに伴って英語のできない祖父母との距離がぐっと近づく一方、日本語のわからない父との会話は、間に母が入って成立するようになっていきました。このような状況の家庭は、今後増えていくかもしれません。

◆『その他の外国にルーツをもつ家庭の状況』

八戸在住のネパール人女性にも、子供の日本語習得について聞いてみました。

「小学校に入学した長男は英語が使えたので、みちのく国際日本語教育センター（以下MIJEC）から英語通訳のスタッフが学校に来て、サポートをしてくれました。次男は幼稚園ですぐに日本語を覚えました。時間の経過と共に日本の生活様式・味などには慣れましたが、逆にネパールに一時帰国した際は、現地の生活様式に戸惑っていました。」

一方、ある中国人女性は、「子供を日本の幼稚園に入れて、家庭では中国語でコミュニケーションを取ろうとしましたが、なかなか会話をしてくれませんでした。幼稚園の先生が、『幼稚園ではよく話していますよ！』と言っていたので、家庭でも日本語で話しかけてみたら、会話をするようになりました。」と教えてくれました。

◆『外国にルーツをもつ子供の日本語サポート』

外国人の子供・サポートの会の田所希衣子さんは、「生活言語能力は日常生活で習得されますが、学習言語能力は認知的要求の高い学習活動で習得され、自然に習得できるものではありません。」と言います。「両親は、自分が十分に使えることばで子育てをすることが大切で、それがその家族の母語であれば、家庭内で母語を使うようにする必要があります。」とおっしゃっていました。

◆編集長's "Eye"◆

保育園・幼稚園では、外国にルーツをもつ子供たちの日本語習得に大きな障害はないようです。しかし、施設側と日本語のわからない保護者とのコミュニケーションや、日本語の社会で生活しながら、母国語及び母国の文化・慣習等をどのように子供たちに伝えるのか、という問題はあるようです。

☆はちのへ・子ども日本語教室☆

八戸市内では、外国人のための日本語教室（主に大人向け）がある他に、はちのへ・子ども日本語教室があり、それぞれ日本語の指導を行っています。

連絡先：☎ 080-6026-3109（担当：明日山）
あけびやま
✉ mt.akebi@gmail.com

外国人に教える日本語講座



外国人に日本語を教える方法や日本語教師になる方法などを楽しく学びます。

日 程 ①入門コース 令和2年3月24日(火)、26日(木)
②実践コース 令和2年3月31日(火)、4月2日(木)

時 間 午後6時30分～午後8時30分

場 所 八戸市福祉公民館（類家）

受講料 ①、② 各2,000円（資料代として）

※必ず事前に電話で申込みの上、ご参加ください。



【お問い合わせ】

ほうじん NPO法人 みちのく国際日本語教育センター

ば ば 馬 場 080-6051-3109
npo-mijec@ezweb.ne.jp

あけびやま 明日山 080-6026-3109
michinokunihongo@gmail.com



ホームページ

<https://michinoku-nihongo.jimdofree.com>



国際交流員(CIR) アンジェリカのコーナー!

Living In Between Two Cultures ～移民二世の中国系アメリカ人として育って～

Previously, I've introduced myself as Chinese American. I am considered a 2nd generation immigrant, which means my parents moved from China to the U.S. but I was born and raised in the U.S. In other situations, some people are born in a country of a different heritage, but their families have already been there for many, many generations. Did you know that there are thousands of 4th and 5th generation Japanese living abroad (that means their grandparents immigrated around the 1880s!), and that, outside of Japan, the largest population of Japanese descent actually live in Brazil?



以前、私が中国系アメリカ人であることは紹介しました。両親が中国からアメリカに移民し、私はアメリカで生まれ育ったので、移民二世と呼ばれています。もう何世代も前からそこに住んでいる人もいます。世界中には、何千人もの日系移民4世、5世が住んでいることを知っていますか? (彼らの先祖は、1880年代に移民したということになります!) ちなみに日本以外で、日系人が最も多く住んでいるのはブラジルです。

There are tons of information on immigration trends, as well as its cultural and social impacts. I can't speak for everyone, but on an individual level here are a few of my personal experiences.

移民の傾向や文化、社会に与える影響については様々な情報がありますが、ここでは私個人の経験をいくつかシェアしたいと思います。

Q: So how many languages do you speak?

A: I speak 3 languages. English is my native language. However, since my parents spoke Chinese at home, I was put into English as a Second Language (ESL) classes in elementary school, where immigrant students and I reviewed our foundational English. Then I started learning Japanese in high school. It sounds cool to say that I can speak 3 languages, but the reality is that if you don't use a language, you will forget how to speak it...

Q: 何か国語を話せますか?

A: 3か国語が話せます。母国語は英語ですが、家で両親とは中国語を話していたので、小学校では、第二言語としての英語を学ぶクラスで、他の移民の子供たちと一緒に基礎英語を勉強していました。日本語は、高校から勉強し始めました。3か国語を話せるといえば、かっこよく聞こえるかもしれませんが、使っていないと本当にすぐ忘れてしまいます...

Q : How did you learn Chinese?

A : I went to a weekend Chinese school for about 12 years, where I learned how to speak, read and write Mandarin Chinese. I'm so glad I learned, but nearly every weekend was filled with lots of frustration and arguments with my parents while doing Chinese school homework!

Q : 中国語はどうやって勉強しましたか？

A : 週末を利用して、中国語の学校に12年間ぐらい通い、そこで読み書きや会話を学びました。今は、勉強しておいてよかったと思えますが、当時はほぼ毎週末、中国語の宿題をしながら両親と喧嘩していたので、不満だらけでした。



Q : What was difficult about growing up as a 2nd generation Chinese American?

A : Communication was difficult at times since my native language is different from my parents' but, fortunately, we managed quite well. My parents were also very understanding of American culture, which is not always very common for immigrant parents. I'm so grateful for my family, but of course, I think every 2nd generation immigrant still goes through a phase of wishing they were born as someone else. I remember wanting to fit in and to be a "normal" American; to look like them, to speak like them, and to understand their humor and pop culture.

Q : 移民二世の中国系アメリカ人として育つ中で、苦労したことは何ですか？

A : 母国語が両親と違うので、コミュニケーションを取るのが大変な時もありましたが、わりと上手く出来ていたと思います。私の両親は、アメリカの文化にも理解があったので、他の移民の子達に比べたら、ずっと楽だったと思います。両親にはとても感謝していますが、移民二世の子供たちは、誰もが一度は、「他の人として生まれれば良かったのに」と感じた時があると思います。私自身、他のアメリカ人と同じ見た目や話し方で、彼らのユーモアやポップカルチャーが理解できたら、本当のアメリカ人になれるのに…と思ったことがあります。

Q : What was fun about growing up as a 2nd generation Chinese American?

A : Without a doubt, the best part was being able to visit my relatives in China and traveling at a young age. The opportunity to meet so many people and experience the world from a different perspective is invaluable.

Q : 移民二世の中国系アメリカ人として育つ中で、楽しかったことは何ですか？

A : 間違いなく一番良かったことは、中国に住んでいる親戚に会うため、小さい頃から海外旅行に行けたことです。色んな人と出会ったり、異なる視点から世界を見られる経験は、かけがえのないものです。



Q : So if you had to choose one, do you identify more as Chinese or American?

A : I have been told by Chinese people that I am "too westernized", but when I say "I'm American", sometimes Chinese people will give me a look and say, "What? But you have pure Chinese blood running through you!" In America, I feel the most comfortable but I know I don't exactly fit in either. It's so strange that sometimes my own identity is arbitrarily determined by other people, because I feel like I can't choose one or the other. I used to be a little sad when I realized that there is nowhere that I really "belong", but I think I'm blessed to be able to experience the best of both worlds.

Q: どちらか一方を選ばなければならないとしたら、自分は中国人とアメリカ人のどちらだと思いますか?

A: 中国人からは「あなたは西洋化し過ぎている」と言われますが、私が「アメリカ人です」と言うと、「え? でも血は完全に中国人でしょ!」と言われます。アメリカの方が居心地は良いけれど、完全に溶け込んではいません。どちらか一方を選ぶのは難しいことなので、自分のアイデンティティが他人によって決められてしまうことには、違和感を覚えます。

「私はどこにも完全には属していないのだ」と気が付き、悲しくなったこともありましたが、両方の世界を経験できていることは、むしろ恵まれているのだと今は感じています。

Q: What advice would you tell your younger self?

A: I think when I was younger, I had a much harder time with my identity. The best piece of advice I've ever received is that your life isn't determined by the situations that you are in, but by how you react to those situations. In the same way, I would tell my younger self to take advantage of my cultural situation. I think I denied myself many opportunities because I thought I wouldn't fit in.

Q: 小さい頃の自分にアドバイスをするとしたら?

A: 小さい頃は今よりもずっと、自分のアイデンティティについて深く悩んでいたと思います。私がこれまでにもらったアドバイスで1番心に響いたのは、「人生はあなたのいる環境によって決まるものではなく、その状況に対してあなたがどう行動するかによって決まる。」という言葉です。小さい頃の私は、自分はそこに溶け込めないと決めつけて、たくさんのチャンスを逃していたように思います。だから、自分の置かれた環境を最大限に活かして欲しいと伝えたいです。



Growing up and now living in Japan has really helped me realize that sometimes it doesn't matter if I don't completely "fit in" with the society that I'm living in. I think people of all backgrounds experience feeling "different" at some point in their lives. Perhaps the most important thing is to have reliable family and friends who understand me and can remind me of who I am inside.

成長し、今こうして日本で生活することで、住んでいる場所の社会に「完全に」溶け込む必要はないのだと気付くことができました。どんな背景を持っている人でも、人生で何かしらの「違和感」を覚えることはあると思います。おそらく一番重要なのは、本当の自分を思い出させてくれる、信頼できる家族や友人がいることだと思います。





カメイ歯科

八戸市六日町 23 (コンサートホールとなり)
TEL 0178-22-0707

診療時間	平日	10:00~14:00	15:00~19:00
土曜	10:00~14:00		

・六日町パーキング券
・共通駐車券 を差し上げております。

JICA海外協力隊員の現地レポート

～八戸市出身～〈嶋脇 雄一郎さん〉



ブラジルにおいて囲碁の普及活動をされている、JICA 海外協力隊（令和元年度第1次隊）の嶋脇雄一郎さんをご紹介します。

●「世界に広がる囲碁」○

この記事を書いている時点で、人生初の海外生活5か月目に突入しています。私は現在、南米最大の都市、サンパウロ市内にある東洋人街リベルダージの、とある一角に住んでいます。サンパウロ市は標高約800メートルに位置し、湿度が低く気温のわりに暑さを感じないため、思っていた以上に過ごし易いです。天候が目まぐるしく変わることから、「一日の内に四季がある」と言われています。スリや強盗などの犯罪が多く、治安は良くないと言われていますが、注意深く行動していれば犯罪被害に遭う危険性を減らすことができます。今のところ私は無事に過ごせています。



ブラジルは移民国家であり、様々な人種や背景を持った人々が暮らしています。そうした背景があるため、人々は様々なことに対し寛容であると感じています。道端で生活する母親と子供、上半身裸で歩く男性、愛情表現が豊かな人々、信号待ちの車の前に出て、火のついた棒でジャグリングをして日銭を稼ぐ芸人。そうした日本では奇異の目で見られるような人々をブラジルでは当たり前のように見かけ、そして人々が日常の1コマとして受け入れているのがとても印象的でした。

私は普段、ブラジルでほぼ唯一の囲碁施設である、ブラジル日本棋院で活動を行っています。ブラジル日本棋院は、日本のプロ棋士である故岩本薫九段が私財を投じて設立した岩本基金によって建設されました。岩本薫氏は国際囲碁普及に尽力し、岩本基金によりサンパウロの他、ニューヨーク、シアトル、アムステルダムでの囲碁会館設立に多大な貢献をしました。

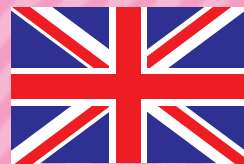
そのブラジル日本棋院で令和元年10月、第21回イベロアメリカ囲碁大会（第3回ラテンアメリカ囲碁コンGRESS）が開催されました。この大会は毎年中南米各国にて持ち回りで開催される国際大会であり、ブラジルでの開催は4回目を迎えます。参加者の大半は中南米からでしたが、遠くアメリカからも数名の参加者がいました。かく言う私もこの大会に参加しました。囲碁の指導者としてブラジルにきた身として、当然良い成績を取らねばという意気込みで大会に臨みました。結果は、優勝という最高の結果で終わることができました。

私にとってこの大会は、初めての国際試合でした。私は未だブラジルの公用語であるポルトガル語どころか、英語を話すこともおぼつかない状態です。しかし、囲碁を打つ上ではさほど障害になりませんでした。「お願いします」で始まり、「ありがとうございました」で終わる。試合が終わった後は握手を交わし、試合の感想を拙い英語と身振りでやり取りする。そうこうしているうちにお互いの仲は自然と打ち解けていきました。改めて、囲碁は言語の壁を超えるコミュニケーションツールだと認識できた大会でした。

ブラジルでの活動は残り1年半と短いものですが、微力ながらブラジルの囲碁普及と棋力向上に尽くしていきたいと思います。



世界で活躍する八戸ゆかりの人



ここでは、世界で活躍している八戸出身者を紹介しています。
今回は、第64号のソカベ裕子さん（現在はハワイでコンドミニウムのデベロッパーの社長室で勤務されています）からのご紹介で、イギリス・ケンブリッジ在住のエリオット沙織さんです。

★ 英語習得への“壁”を乗り越えて

「英語を話せるようになりたいなら、海外に出なくては」。頭では解りつつも、八戸しか知らず、見知らぬ土地に単身乗り込む勇気などなかった10代の私は、英語の習得など分不相応な夢と思っていました。そんな海外生活が皆無の私でしたが、人との出会いに恵まれ、沢山の学びを経験し、八戸を出ることなく生きた英語を習得することができたのです。絶対に無理だと思った夢に向かうための大きな機会を与えてくれたのは、Jackson Two英会話教室のJackson夫妻でした。Jackson Twoでの笑いの絶えない、宝物のようなあつという間の数年間の後、広い世界で英語を使った仕事の経験を積みたい想いが強くなり、上京。外資系企業で外国人マネージャーの秘書を務めていた時期に、仕事柄頻繁に来日していたイギリス人の主人と出会い結婚。その後イギリスのケンブリッジに移住し10年が経ちます。



★ 想定外の“壁”に直面して

渡英から5年後の夏、2児の母として子育てに追われていたある日、発達の遅れが顕著な長女（当時3歳）に自閉症の診断が下りました。程なくして全身けいれんを伴う癲癇（てんかん）を発症。重い知的障害を伴う染色体異常の診断も下りました。治療法は無し。親である以上、逃げたくても逃げられない。そんな中で私が踏み出した第一歩は、娘が教育課程において十分な合理的配慮を受けられるよう「Education, Health and Care Plan（教育に関する法的合意書、通称EHCP）」を取り付けることでした。学校側が障害児の授業参加を拒否するケースもある以上、何としてもEHCPの取得を、と思ったのです。

ところがこちらの行政は障害児へのサポートを謳う一方、コストを最低限に抑えるため、親のサポート取得を断念させるための圧力をかけてきます。障害に対する周囲の理解を得る難しさも相まって大ピンチ。でも「この歳で行政と本気のケンカがぁ。ここで一発逆転したら、ずいぶん面白いな」という俯瞰した思いもありました。



強い味方となってくれたのは、親が行政の圧力に屈することのないよう、障害児とその親の権利・行政の義務を定めた法律と、そのエキスパートともいえる同じ障害児の親の仲間でした。法律の内容はまさにゲームの必勝攻略マニュアル。多くの人が弁護士を介して裁判で決着をつける中、私はこの攻略本を手し、無事行政との間でEHCPの合意に至ったのです。

現在は、娘の様々な権利を親として生涯通して守れるよう、またほかの子供たちの助けとなる存在になれるよう、大学の法律学部で学位取得を目指しています。

★ 途方に暮れたら、まずはその一歩先だけを見据えて

世界のどこにいても、人生には素晴らしい経験と同じくらい、乗り越えるべき壁も用意されている気がします。壁にぶつかったときは、あえてそれを面白がる。とりあえず、次の一歩だけを見て進む。すると、いつのまにか最善への長い道を進んでいる自分に気づくと思うのです。

Life isn't about waiting for the storm to pass. It's about learning to dance in the rain.

(人生とは嵐が過ぎ去るのを待つためのものではなく、どんな状況でもそれを楽しむ術を学ぶためのもの) それを心の片隅に覚えておくことで、どこに身を置いても、きっとやっていける。これから羽ばたいていく皆さんにも、この言葉が沢山の希望をくれるように願い、結びの言葉とさせていただきます。

2019年8月に新しく赴任した八戸市の外国語指導助手(ALT)を紹介します



シャノン ミューズ

Shannon Mewes

出身地：アメリカ

担当校：東中・町畑小

美保野小・旭ヶ丘小



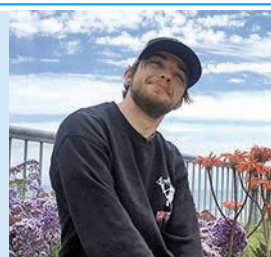
ベンジャミン マスグレイヴ

Benjamin Musgrave

出身地：イギリス

担当校：長者中・中沢中

長者小・函南小・南郷小



コーリー ペシン

Corey Pessin

出身地：アメリカ

担当校：下長中・下長小

城北小・高館小



ロバート トレンティーノジュニア

Robert Tolentino Jr.

出身地：アメリカ

担当校：北稜中

根岸小・日計ヶ丘小

NO
PHOTO

レイチェル フレンド

Rachel Friend

出身地：アメリカ

担当校：大館中・新井田小

八戸国際交流協会 会員及び準会員募集！

八戸国際交流協会の会員及び準会員※を募集しています。当協会は、地域の国際交流や、多文化共生社会の推進を目的として活動しており、会員の皆様の会費によって運営されている団体です。

年会費 個人 1 □ 2,000 円

団体 1 □ 10,000 円

会員の特典 ○協会発行機関紙「りんぐりんぐ」をお届けします。

○協会主催国際交流イベント情報をいち早くお届けします。

○協会主催のイベントや外国語講座では会員割引等の特典があります。

※準会員は高校生を対象とした会員制度で、年会費はありません。

八戸国際交流協会ボランティア募集！

当協会は、国際交流活動に参加していただけるボランティアを募集しています。ボランティアとして登録できる方は、**18歳以上**で、次に掲げる条件を満たす方です。

- 条 件 1) 八戸市内に住所を有する方
(市内の事業所及び大学に通勤通学している方を含む。)
2) 国際交流に対する理解及び熱意がある方

活動内容 通訳、翻訳、ホームステイ・ホームピジット受入、ツアーガイド、国際交流イベントの企画・従事など



外国人のための「ほっとスルメール」

Disaster Prevention Information Email in English and Easy Japanese

「ほっとスルメール」とは、安全・安心に関係することについて、けいたい
でんわ ば そ こ ん い め ー る に ほんご
電話やパソコンのEメールに英語・やさしい日本語(※)でれんらくするものです。

※やさしい日本語とは、ふつうの日本語よりかんたんでわかりやすいことばです。

Hotto Suru Email is a service that sends out disaster and safety information to cell-phone and PC email addresses. Services are available in English and Easy Japanese.

*Simple Japanese : Japanese that is simpler than standard Japanese that is easy for foreign residents to understand.



登録料

お金はかかりません。0円です。

れんらくすること

- ①津波のおしらせ 日本語・英語・やさしい日本語でれんらくします。
津波(高い波)がくること、津波(高い波)からの逃げかた
- ②緊急のおしらせ 英語・やさしい日本語のどちらかをえらべます。
台風・地震が起きたこと、逃げるところ
- ③ライフラインのおしらせ 英語・やさしい日本語のどちらかをえらべます。
電気・ガス・水道の事故のこと

申込み / 登録

れんらくがほしい人は、ホームページから申込み / 登録してください。
<http://www.city.hachinohe.aomori.jp/index.cfm/22,56363,78.html#Applicationform>

★ほっとスルメール申込み➡



Cost

Registration and information services are free.
However, telecommunication fees remain.

Information Sent

- ① Tsunami Information available in Japanese, Easy Japanese and English
tsunami advisories / warnings, evacuation information
- ② Emergency Information available in English or Easy Japanese
earthquakes, typhoons, evacuation advisories / warnings, the opening and location of evacuation centers
- ③ Lifeline Information available in English or Easy Japanese
problems with electricity, gas and water



How to Register

For those who would like to register, please access the following website and submit the online registration form.
<http://www.city.hachinohe.aomori.jp/index.cfm/22,56363,78.html#Applicationform>

★Online registration form ➡



【れんらくさき Contact Information】

はちのへし し 市民連携推進課 国際交流グループ
Citizen Collaboration Promotions Section International Relations Group
〒031-8686 Hachinohe Uchimarui 1-1-1

TEL 43-9257 FAX 47-1485 E-mail renkei@city.hachinohe.aomori.jp

外国人の
お友だちにも
教えて
あげてね!



こかぶくん



編集後記

後期にイベントが集中した関係で、今号で全てを紹介できませんでしたが、他にもハロウィンツアー・外国人のための防災教室などを実施し、いずれも過去最多の参加者数となりました。

外国人住民の数が増えてきて、子供たちの日本語習得サポート、及びその人材不足が大きな課題です。関心のある方は、ぜひ一度、みちのく国際日本語教育センター(MIJEC)主催の「外国人に教える日本語」講座を受講してみてもいいでしょうか?

編集スタッフ

編集長 - 川崎 康一

編集員 - 亀井 圭子 田頭 順子 松田 朋恵
宗石 美佐 菅原未希子 Micheal J Morris
Joy Pal 吉田 オレリー 田中 野
アンジェリカ・ワン 関川 佳子 大山 詩織

発行・お申込・お問い合わせ:

八戸国際交流協会 (八戸市市民連携推進課内)

〒031-8686 八戸市内丸 1-1-1

TEL 0178-43-9257 FAX 0178-47-1485

E-mail: info@hachinohe-hira.jp

<http://hachinohe-hira.jp>



印刷: 赤間印刷工業株式会社

〒031-0072 八戸市城下一丁目24-21

TEL 0178-43-7158 FAX 0178-43-8237